

# エコライフにいま

～ひろげよう環境にやさしい暮らし～

## 回覧

発行：新見市市民環境会議

発行責任者：吉良英紀

協力：新見市市民生活部生活環境課

2007年(平成19年)8月号 新見市市民環境会議会報第6号

## マイバスケットの普及活動を行いました

今、全国的に、買い物のときにレジ袋を受け取らずに買物袋や買物かごを持参するマイバッグ運動が盛んになってきています。



レジ袋1枚くらい・・・と考えがちですが、全国平均では1世帯で1ヶ月に35枚、1年間で420枚のレジ袋を受け取っているといわれています。市内に換算すると、1万3千世帯が1ヶ月で45万枚のレジ袋を受け取り、そのほとんどをごみとして捨てている計算になります。袋は1枚あたり約10gですから、1ヶ月で4.4t、1年にすると528万枚=52.8tもごみになっています。

また、レジ袋10枚を作るのに牛乳瓶1本分(200mL)の石油が必要といわれています。つまり、市内で使われている528万枚のレジ袋をつくるには、105,600L、ドラム缶528缶の石油が必要なのです。

そこで、私たち市民環境会議では、早くからマイバッグ運動の必要性を感じ、ただ呼びかけだけではなく、市民の多くの方々実際に使っていただけるバッグを提案したいと考えていました。

今回、この地域では車利用の買い物客が多いことに着目し、車の助手席やトランクなどに置いて安定が良く、荷崩れがしにくい、マイバスケットを県南の業者より取り寄せ、5月19日に、市内のスーパー5店舗の店頭で、皆さんに販売をしました。6月3日にはフリーマーケットでも販売しました。

新聞やTVなどでも報道されたこともあり、問い合わせも多く、その後短期間の内に、用意していた200ヶは売り切れとなりました。現在追加で取り

寄せ引き続き販売しています。

最近では、私たちの取り扱ったマイバスケットやご自分で用意された買物袋などを使って買い物をされている姿が、少しずつ増えてきたように思います。

マイバスケットや買物袋など、なんでもいいのです。要は、ごみの減量化や省資源に結びつくレジ袋を受け取らない運動を皆さんと一緒にこれからも進めていきたいと考えています。

### マイバスケットの特徴・利点

お店のレジかごより一回り大きく作ってあります。スーパーなどでは、マイバスケットの中にお店のレジかごを重ね、カート



に乗せて買い物をすると楽です。

お店のレジかごの色とは違う、ピンクと白色で作っていますので、持ち歩いても安心です。

お店のレジでは、精算をしながら直接マイバスケットに商品に移してくれます。清算後はそのまま車へ積んで、家まで持ち帰れます。

助手席やトランクなどでも安定していて、荷崩れがしにくいです。

専用のトレー(受け皿)が付いているので、汁がこぼれても安心です。



マイバスケット  
(定価600円)

## 2007キャンドルナイトin新見

夏至の夜に2時間だけ電気を消してキャンドルの灯りで過ごすイベント「2007キャンドルナイトin新見」が6月22日に哲西の道の駅鯉ヶ窪周辺で、翌23日に新見の太池邸周辺で開催しました。



キャンドルナイトは5年前から全国各地で始まった、地球温暖化などの環境問題への理解を深めてもらうための呼びかけで、新見市民の方にもぜひ知っていただきたいと企画しました。

哲西会場では19時からの開催セレモニーの後、オカリナのコンサート、米粉パンのクッキーの販売、鯉ヶ窪湿原への2kmのキャンドルロードの散策を楽しんでいただきました。

新見会場は、太池邸をメイン会場に商店街や三味線横町に約700本のキャンドルを灯し、絵本の読み聞かせ、エレクトーン・アコーディオン・フルートなどの演奏も行われ、多くの家族連れに幻想的な雰囲気を楽しんでもらいました。



準備期間は1ヶ月といった短期間でしたが、スタッフ一丸となって無事に終えることができました。

次回、12月22日の冬至に向けては、余裕を持って準備し、更に多くの方が参加していただけるようにしたいと思います。ご期待下さい。

## 大佐山自然観察ウォーク

5月13日の大佐山自然観察ウォークに13名が参加しました。大佐山は1億8千万年前に隆起した山(標高988m)で多様な植物が自生しています。

ピンクの花が満開だった「イワカガミ」、葉緑素のない「ギンリョウソウ」、葉っぱの真ん中に花をつけた「ハナイカダ」、若芽が山菜になる「コシアブラ」に「タカノツメ」の木、実が食べられる「サルナシ」の太いつる、葉っぱが甘い「タムシバ」、苦い「ニガキ」、コナラの幹に丸い穴をあけたアオゲラの巣。2千kmを飛んできた「サギマダラ」に

も会いました。

山中は注意も必要です。中腹の登山道ベリでは「マムシ」もいました。「ヒロハヘビノボラズ」のように鋭いトゲのある植物や、体に触れるとかぶれて大変な「ツタウルシ」もありました。

昼食には、山頂のレストランで、季節の山菜を天ぷらなどにした弁当を食べました。そして、野鳥や昆虫、木や菜の花が共生する自然環境の一部を観察・体験しました。

## 自然保護部会の出前事業

6月30日に部員5名が高尾小学校4学年の支会活動行事に出向きました。

スタッフは、木片・葉・シュロの葉・まつぼっくり・どんぐり・竹など自然の物やボタン・毛糸など不要になった物をたくさん用意し



て行きました。児童たちは、スタッフの指導や親の見守る中、時間の過ぎるのも忘れて、クラフト作りを楽しんでいました。おしまいに、一人ひとりが作品の発表をして、「いろいろと工夫した。」「難しいこともあった。」「おもしろかった。」「これからしてみたい。」など感想を述べてくれました。

スタッフは、児童たちの喜ぶ姿を見て、これからも自然保護を共に考えて活動する機会がもてるという話と話し合いました。

## メンバー募集

一緒に新見の自然や環境について考えてみませんか！市民環境会議のメンバーを募集しています。

連絡先 吉良 英紀 72-0061

(夜6:00~8:00に電話してください。)

### ~編集後記~

みなさん、こんにちは！私たち市民環境会議は夏の太陽のように、熱く活動しています。「キャンドルナイト」など多くのイベントを行い、盛り上がっています。メンバーもどんどん増え、みんな楽しく活動しています。秋には「第4回にいみエコフェスタ(11月11日<日>)」もあるので楽しみにしてください~い！

